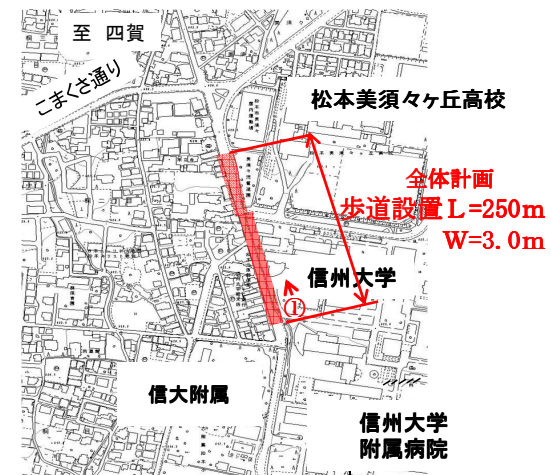
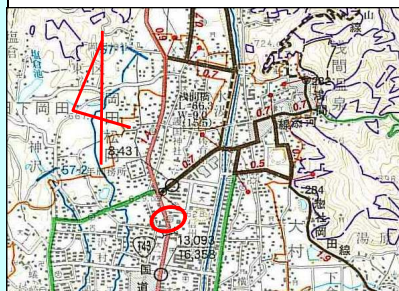


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備事業		路河川名等	(国)143号		
事業毎の通番		10	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	美須々(みすず)	
事業概要	事業目的	周辺には幼稚園・小学校・高校・大学・大学病院があり、歩道の利用者が多い箇所である。現況歩道は1.5mと狭く歩行者が車道にはみ出し、すれ違う状況である。交通量も非常に多く、学校関係者より歩道拡幅要望が出されている。このため歩道を拡幅することにより歩行者の安全を図りたい。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
	関連する事業、計画等	通学路緊急合同点検					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	旭町小学校、松本美須々ヶ丘高校、信州大学 通学生 他 現況自動車交通量 14,643台/日、現況自転車・歩行者交通量: 2,134台・人/12h					
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=250m W=3.0m			65,000	39,000	23,400 2,600
	年度事業内容(主な工種)	用地補償1式 歩道設置工 L=40m W=3.0m			36,000	21,600	12,960 1,440
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される				
		間接的効果(定量的・定性的)	緊急輸送路の整備 通行車両の交通事故抑制				
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 14,643台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 2,134台・人/12h				評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検) ○緊急輸送路の路線指定 : 県緊急輸送路(1次)に路線指定				評価	A
	効率性	○事業期間 : 4年間(H27~H30)				評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 人or自転車×自動車事故発生 5件以上 ○通学路対策 : 緊急合同点検を踏まえた対策箇所(松本市立旭町小学校) ○現況の歩道幅員 : 2.0m未満の歩道あり(W=1.5m)				評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H26.5.13用地関係者へ事業説明会を開催)				評価	C
		○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民関与が低い事業					
部意見	交通量、自転車・歩行者が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	行政改革課意見	幼稚園、小学校、高校、大学、病院は集積する市街地である。歩道が狭く、事故も多く発生していることから、必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A

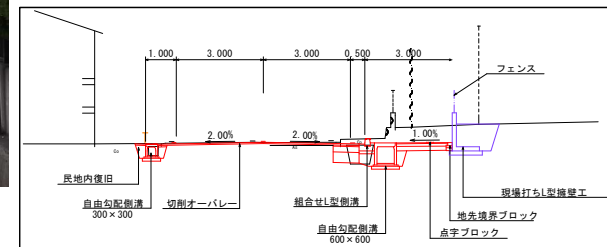
【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



通行状況



標準横断面



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当事業箇所の周辺は幼稚園・小学校・高校・大学・大学病院があり、歩道の利用者が多い箇所である。(H22道路交通センサス 831人/日)
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当事業箇所の交通量が非常に多く(H22道路交通センサス 14,643台/日)、歩道が狭いため歩行者がすれ違う際に車道へはみ出し危険な状態である。このため、近隣の住民、学校関係者より歩道を拡幅するよう事業要望が出されている。
③事業説明等の経緯	道路拡幅に必要な土地の地権者に対し事業説明を行い理解を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	なし
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により歩行者の安全が確保され、事故防止につながる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 15' 01.21" 東経:E 137° 58' 46.89"